

道内7月、バイト時給2%上昇

就職情報サイトのマイナビ（東京・千代田）によると北海道の7月のアルバイト平均時給は975円と、前年同月（953円）を2%上回った。「上昇は2カ月連続だ。職種別では建築・土木や警備・清掃の上昇が目立った。平均時給の高いオフィスワークの時給も増え、全体をけん引した。平均時給の上昇率は4月以来の大きかった。新型コロナウイルスの発生以降落ち込んでいた求人数も「飲食・フードを中心に増加している」（早川朋アルバイトリサーチチーム長）という。全国の平均時給は3%増の1105円と2カ月連続で増えた。全国7エリア全てで平均時給が増加した。医療・介護・保育など「エッセンシャルワーカー」と呼ばれる業種の上昇傾向が続いている。

バイト時給2%高

三大都市圏 宿泊にGOTO効果 8月

リクルートジョブズが16日発表した8月の三大都市圏（首都圏、東海、関西）のアルバイト・パート募集時平均時給は、前年同月比2%（21円）高い1084円だった。コロナによる新生活様式の広がりや需要が増えてきている「物流」や、人手不足が続く「介護」の上昇がけん引した。7月比では「宿泊」の伸びもあり、「GOTOトラベル」の効果が持ち直した。倉庫内の仕分けなど「物流作業」は、前年同月比2.5%（27円）高の1087円。オフィスのビル内の清掃作業などの「清掃・洗浄・クリーニング」も同1.2%高（12円）の1053円となり、全体の上昇をけん引した。「介護スタッフ」も3.5%（38円）高の1114円と引き続き高かった。

バイト時給の推移  
(三大都市圏、募集時平均)



一方、「フード系」は1015円と同1.2%（12円）安。東京都で飲食店などに時短営業の要請が出たことで、深夜帯の高時給の求人が減った。

人材サービス大手のデ IPPによると、8月のアルバイト・パートの求人数は前年同月比28%少なかった。

エン・ジャパンが同日発表した8月の派遣社員募集時平均時給は、三大都市圏（関東、東海、関西）で1572円となり、前年同月比0.6%（9円）下がった。主力の「オフィスワーク系」が1562円と1.4%（22円）下落。時給水準が低い官公庁系の案件が増えて相場を押し下げた。